



沢田 栄治 議員

町内一斉避難訓練は 5,226人の参加

Q 町内一斉避難訓練は万全だったか。

①実施計画はいつものように決定したか。

②世帯数と訓練参加人数は。

③町として予定通りの結果か。

④今後の対策をどうするか。

A ①東日本大震災の被害の甚大さを知り

今までの町主導型ではなく、自主防災会主体で、全町民を対象とした訓練とし、6月中旬に町内部で決定した。

②9,251世帯で、26,293人のうち5,226人の参加があった。

③阿久比町全地区一斉避難訓練とし、世帯1名以上の参加をお願いした。

5,226人の参加があり、予想以上の参加であった。

④全町民が避難する場合、避難所の規模や場所等の見直しが必要と考える。

町防災倉庫中身は 10,778食分備蓄



防災倉庫内部

Q

町防災倉庫の中身は。

①町備蓄場所はどこに何ヶ所あるか。

②備蓄内容は何か。

③食糧は何食分備蓄か。

④災害時物資協力店はあるか。

⑤各小学校に食糧備蓄は可能か。

A

①丸山公園に1か所と各小学校体育館と学区自主防災倉庫が1か所ずつ計9か所ある。

②阿久比町防災倉庫には、アルファ米・クラッカー・缶詰・飲料水・簡易トイレ・避難所間仕切り等が、学区自主防災倉庫には、発電機・投光機・折りたたみリヤカーが、各小学校体育館には毛布・ポリタンク・トイレトペーパー等が保管してある。

③10,778食分を備蓄している。

④災害救助に必要な物資調達協力店が9店舗ある。

⑤管理等の関係もあり各地区等と協議検討する。

通学路は安全か

カラー路側帯の検討

通学路は安全か。

Q ①信号機、歩道、路側帯の道路対策はできているか。

②通学路側帯をすべてカラーラインにしてはどうか。

A

①通学路の安全対策については、各小学校からの要望に基づき、交通安全対策事業や道路維持補修工事等を実施している。

②通学路側帯のカラー舗装については、40人以上の児童が利用する通学路を実施してきた。今後は、利用頻度や路側帯の有効幅員を考慮して、検討していく。



通学路